

子山ホームだより

第79号



平成30年度 生活基本計画

平成30年度を迎えるにあたって

施設の歩みとは、一人の人間の成長と同じと考えます。子山ホームは誕生して約70年。

赤ちゃんの如く市川・成田時代は、生きること暮らしことに精一杯だった幼少期。成田から大原に移転し、のびのびと過ごし、様々なことを経験した学童期。そして、いよいよ将来を見据えた青年期を迎えようとしているのが今年であると思います。これからは、今まで培ってきた養育のスキルと職員同士の支え合いが生み出す職場の雰囲気、そして、子山ホームで暮らし子どもや大人の安心で安全な暮らしは何にも代えがたい子山ホームの大切な柱です。この柱がある限り、世の変化や困難を乗り越える知恵がきっと生まれます。みんなで新しい子山ホームの時代の扉を力を合わせて開きましょう。

園長 森田 雄司

生活目標「ここが僕の私の居場所だ！」

私たち大人は何かあれば自分の意思でホームを離れることができます。しかしホームで暮らし子どもたちは何があるかと、ホームに戻ってくるのが第一とすることが余儀なくされます。子どもたち一人一人にとって、常にホームが自分の安全と安心でいられる居場所になるように、それぞれの存在をそのまま受け止め、受け入れ、認め、信頼できるホーム創りを目指しましょう。合わせて私たち大人もお互いに暮らし易い場所、そして働きやすい環境を創るために改めてその存在を受け入れ、認め合い、信頼できる関係作りを目指しましょう。

養育目標「自分の考えを自分の言葉で伝える」

子山ホームで暮らし子ども達の多くは、自分の考えを認めてもらえない環境で暮らすことを強いられてきた子たちです。それは自分の考えを持つについても、肯定的には受け止められてこなかった子たちであり、意識して自分の考えを言葉にしてこなかった子たちだと思っています。どんな場面でも周りに流されず自分の考えを、自分の言葉で安心して伝えることができるように、日々の暮らしの中で、私たち大人が意識をして支援していきましょう。その為には、まず私達自身が、率先して自分の考えを、自分の言葉で伝えていく意識を持つて暮らしましょう。

「鏡は姿を映し 言葉は心を映す」

副園長 吉田 正浩

3/11 子山ホーム送別会

～卒園生とお世話になった保育士さんからのメッセージ～

今年は3月11日に、卒園生を祝う送別会が行われました。毎年、笑いと涙とともに迎えるこの送別会ですが、今年の子どもたちの強い個性や生活していた時の強いエピソードの力もあり、笑いが多く見られる送別会となりました。ですがそんな子どもたちでも、お世話になった職員やホームのみんなに対してメッセージを伝える際には、やはり感動的で涙を誘うものとなりました。

子山ホームで生活していたことに区切りをつける大切な行事ですが、盛り上げることができて良かったです。

児童指導員 杉本裕樹

K君の担当保育士さんからのメッセージ

K君、ご卒業、ご卒園、そして上原工業にご就職、おめでとうございます。
K君が中学3年生になった時に、笹崎さん、新山さんに引き継いで、りんどうホームの担当になりました。当時、K君は大原中の野球部の練習や遠征で毎日早起きをして登校していました。そんな多忙な学校生活を送りながらも時間がある時には、H君にバッティングやキャッチボールを一緒にしてくれたり、ホームリーダーとしても、とても頼もしく感じたことを覚えています。

夏に野球部を卒業してからは、高校進学に向けて塾に通い始め、勉強も頑張りました。お正月にはホームの皆で、一宮の玉前神社合格祈願の初もうでに行きましたね。甲斐あっては高校は野球部の強い一宮商業に推薦枠で合格しました。野球部の推薦での高校合格は喜びでもありましたが、K君もきっとそうだったと思いますが、3年間野球漬けの大変な日々が待っていることを少し懸念しました。そんな懸念をよそに、高校に入学するまでは、ホームの指導員さんたちに朝早く起きて、早朝にお魚釣りに連れて行ってもらったりと楽しい日々を過ごしていましたね。春休みには、おばあちゃんの家に行くこともできて、伯父さんとも顔を合わせて親交を深めることができましたね。高校合格の良い報告ができたのではないかと思います。

一宮商業高校に入学してからは野球部と商業高校での英検や簿記など資格試験も多く、勉強も大変だったと思いますが英検3級、簿記1級、他にも情報処理等、頑張っているいろんな資格を取ることができましたね。いつも部活に勉強にと頑張っているK君を見て、関心していた大嶋さんです。そんな疲れ切って眠り込んでしまったある日、事件が起きました。ホームの子がバザーで買ったヒーターをもらい受けて使っていたようですが、そのヒーターから布団に火が付き、廊下、食堂までモクモクモクモク煙が立ち込めていた時の驚きは今でも強烈に覚えています。幸い、発見が早く怪我もなく…本当に良かったです。冷や汗たらたらでした。一人暮らしになったら、くれぐれも火の元には気を付けてくださいね。

高校2年の夏休み後の9月より、自立に向けて袴田ホームにお引越しました。今度は子山ホームからの自立ですね。新しい生活への不安もあるでしょうが、どうぞ、学校やホーム、野球部で培った根性と精神をバネに、これからの長い人生を、楽しみながら切り開いていってほしいと願っています。これまで努力し、頑張ってきたK君ですから、きっと大活躍してくれることを期待しています。

保育士 大嶋比呂子



卒園生を代表して K・T君からのメッセージ

まず今日私たちのためにこのような会を開いていただきありがとうございます。

私は小学4年生の終わりくらいに、この子山ホームに入りました。入ってすぐに吉田さんにソフトボールに誘われ、やってみると楽しくて野球に興味を持ち始めました。学年が上がるにつれ試合に出る責任感が強くなり、ピッチャーというのもあったがストライクが入らない時吉田さんに少し言われただけでいじけてしまい、けっこう怒られてたのが記憶にあります。最後の夏の大会では39.0℃の熱がありながら試合に出ていたというの思い出です。

中学でも野球を続け高校でも頑張りましたが、最後の大会では1回戦負けで結果を残せませんでした。一宮商業から推薦をもらい入試は160点という点数で入ることができました。

高校では本格的に野球を始め、朝早くから夜遅くまで毎日毎日野球生活でした。

担当保育士の大嶋さんにはたくさん迷惑をかけたてしまいました。それでも毎日朝早くご飯を作ってくれたり夜遅くご飯を作って待っていてくれてほんとうにうれしかったです。中学野球とは違ってほんとうに練習もつらいし監督はうざいしでやめたいと思ったときが何回もあって、でも吉田さんや是枝さんに励ましてもらってなんとか3年間続けてこれました。

3月8日で高校を卒業しました。卒業前には呼出しなどくらいでしたが無事卒業できてよかったです。子山にきて7年がたち今こうやって卒園できるのもたくさんの人たちの支えがあってこそと思っています。

これからは君津の上原工業に就職しますが、今まで学んだことをいかし頑張ります。本当に今までありがとうございます。

K・T



T・T君とY・O君もお世話になった保育士さんと子山ホームへの感謝の気持ちをみんなに伝えました。また、それぞれ飲食店(レストラン)と介護職に就くことを報告しました。

3人ともがんばれ!!

Y君の担当保育士さんからのメッセージ

Dear♡ Y・Oさま。

よく頑張りました！本当にこのひと言につきます。

中2で出逢った時は…この先Yはどうなるんだろう…どうしたらいいんだろう…と米元さんとよく話をしていました。Yの大好きな米元さんが退職されて、高校生となり、3年間続けられるのか本当に心配してましたが予想をうらがり（笑）無事に卒業できましたね！卒業式へは内緒で出掛けました。入場してきて笑顔を見たとき、本当に嬉しかったです！

今まであった色々な事は経験として、これからある沢山の楽しい！嬉しい！幸せを愉しんで大人になって下さい。小さい時からずっと見てくれていた米元さんと里親の片山さんご夫妻、そして品川のばあちゃんにお父さん、家族の事も大切にしていけるといいですね。みんな、あなたを応援しています。かおるちゃんも含めてね♡

今後はご近所さんなので大原の町中であうと思うけど、きっと変わっていくYにあらうことを楽しみにしています。お仕事の介護も大変だと思いますが、おだやかになったYの笑顔で利用者さん達がいやされるとよいね！

最後、1年間は超さむがりYも袴田ホームでがんばったね。ごろごろちゃんから行動できるようになったのは作戦通りです。よかったー！

そして最後に「本当によく頑張りました♡」の言葉をおくります。老後の米元さんとかおるちゃんの介護はまかせます。これからもよろしくね！

保育士 西本かおる

T君の担当保育士さんからのメッセージ

T・T様

5年間過ごした子山ホームからの卒園、3年間通った高校からの卒業、おめでとうございます。そして夢庵への就職おめでとうございます。

Tが過ごした5年間はどんな5年間でしたか？きっと、今では笑い話にしてしまえるような黒歴史がたくさんあったことでしょう…（笑）

私が担当になってからは、高校生になったということもあってか落ち着きを見せ始めてしまったので、あんまり「悩まされたな」とか「手がかかったな」という思うことは無く、むしろ助けてもらったことの方が多かったな、と思います。色々、手伝ってくれてありがとうね。いつも、あじさいホームの中心に居てホームを明るくしてくれていたTが居ない日常がくるのかな、と思うと実はすごくさみしいです。あ…でも、まだ少しの間居るのか…（笑）

さみしいけど、いつまでも居座ってはいいわけでもないの、頑張って早めに仕事に慣れて、自立しましょう。間違っても、あじさいホームに居る間に仕事をやめたりしないよーに！！まあ、でも、Tはもう社会に出たら思い通りにいかないこともたくさんあること、ちゃんとわかっているよね。だから、焦らずTのペースで慣れていけば良いと思います。嫌なことがあったら、愚痴くらい聞いてくれる人がたくさん居るから溜めこまずにちゃんと吐き出すこと！

子山ホームのみんながTの社会人としてのこれからを応援していることを忘れずにいてください。もちろん、私も応援しています。頑張れ、T！

保育士 常住明日華



開園記念行事

5月3日に子山ホーム開園記念行事が開かれました。開園記念行事は毎年子山ホームの運動会として皆で汗を流します。実行委員の子達が何度も集まって、種目やルール、チーム分け等ほぼ全てを子ども達自身で決めて準備しました。当日は生憎の雨で全て室内での競技となりましたが、皆全力でプレーして存分に楽しむことができました。

児童指導員 若林越磨



3/21 祝進級会

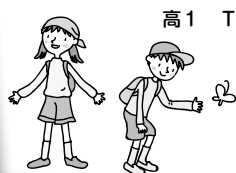
今年度は、5名の新小学一年生、4名の新中学一年生、4名の高校生が誕生！ホーム全員の進級をみんなでお祝いしました。

児童指導員 藤巻学

3/16～17 中3卒業行事



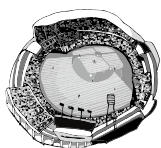
私は、この中3卒業行事の全行程きつかったです。登山はできなかったけど、行きの道なりと帰りの道なりは頑張って歩きました。行きも帰りも足がもたないんじゃないかと心配だったけれど、何とかホームに帰ってこれた良かったと思います。この経験を次の中高生登山キャンプに活かせたらと思います。登山キャンプでは登頂を目指します。菅野さん、いろいろと文句を言っていました。羽賀さん、応援してくれてありがとうございました。池口さん、色々心配してくれてありがとうございました。



高1 T・S



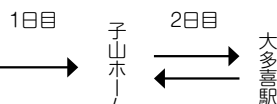
3/16～17 小6卒業行事



ZOZO マリンスタジアム



支援センターのフリースペースをお借りして…仮眠…



ぼくは、小6行事をやって100kmのつらさがわかりました。最初はいたくわからなかった。最後のほうには足を10cmあげるのもむりなほどいたくなり、本当にびっくりしました。みんなはもうやりたくないと言っていたけど中3行事でも2度やってみたいですよ。中一 K・Y

100km歩けなかったけど、約85km歩いてよかった。いろいろな道を自分達で歩いたから道を少しおぼえられた。次行くときになったら100kmを歩きたい。大変だったけど楽しかった。中一 T・K

3月16・17日の2日間で小6卒業行事に行ってきました。1日目はZOZOマリンスタジアムから大原までの約70km、2日目は大原、国吉間もしくは大原喜間の往復で約15から30kmの合計最大100kmを歩くというものでした。当初の考えでは1日目で脱走者が出るかもしれない、2日目に挑戦する子が果たしてこのかた考えています。1日目は約70kmのコースで、皆中間地点では既に足を引きずりながら歩く疲労困憊の状態でした。何度も止まりながらも皆脱走せずに歩き切ったことには驚きました。帰って来てからも興奮冷めやらぬ様子で、すぐに寝付かなかったようです。仮眠をとり、2日目は全員参加で歩き始め、結果として2人の子が100km走破、他の子も脱走せずに85km走破し子山ホームに帰ってきました。足の痛みや疲れに負けず100kmを歩き切ったことはきっと子ども達にとって自信となったことでしょう。これからの春も辛くなった時にはこの日を思い出して乗り越えてほしいです。

児童指導員 若林 越磨

2018 SPRING チャレンジ

3/1～2 高校生思い出旅行



初スキーに挑戦

スキーに行きました。歩くスキーしかやったことが無かったけどぶつに楽しかったです。最初はすべれなくて、イライラしたけどすべれるようになったら楽しくて仕方がなかったです。また行きたいです。次は好きな人と行きます♡。高3 Y・A

私はスキーに行くために、子山ホームの為に衣料庫の掃除をしました。すごく大変で嫌になったともあったけどそのおかげで人生初のスキーを最高に楽しめました。最高に良い一日でした。また行きたいです。高3 S・Y

2018年3月1日・2日で軽井沢プリンスホテルリゾートへ高校生男子1名と女子1名の計2名で行ってきました。最近では皆スノーボードを行う子が多い中2人ともスキーを行い、2人ともは初めてのスキーに苦労しながらも楽しく行う事が出来ました。児童指導員 和田 直樹

5/12 YAMATHON 2018



山手線の駅を歩いて1周し、全ての駅を制覇するチャリティイベントに今年も子山ホームの子どもたちが参加。フルチャレンジ・ハーフチャレンジの子どもたち全員制覇することが出来ました！



ヤマソンは都会を歩いたことのない子どもたちにとってわくわくすることだらけだったと思います。あれなに？これなに？と次々に質問してくる子どもたち。高いビルやたくさんの人など普段はなかなか経験しないことなので、子ども達はとても楽しそうでした。子ども達の世界が広がるきっかけになったと思います。また、最後まで励まし合いながら頑張ってきたり、子どもたち同士で地図を読んで進んでいたり、子ども達の意外な一面も見ることができ、すごいねと褒められることで、子ども達の自信にもつながったと思います。私にとってもいい経験になりました。同行していたNADIAのボランティアの皆さん、今年もありがとうございました！

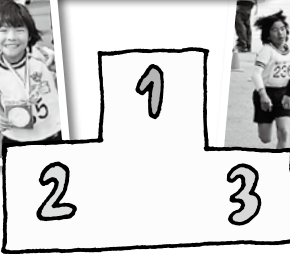
保育士 高橋 菜々

2/10 千児協マラソン大会

みんな力いっぱい走りました！！

入賞おめでとう！！

- 小4 R・T < 8位
- 中1 D・S < 7位
- 中2 C・N さん 6位
- 中3 R・T さん 2位



今年も本番へ向けて約2週間、園内で練習に励みました。例年では中高生の参加は少ないのですが、今年は多くの中高生も参加となりました。練習では「おれ、もう一回いいよ」「次のタイムアップでは、今より早く走りたい」など、前向きな姿勢な子どもたちが多く出てもらってうれしかった。そんな元気な子どもたちを促されて、練習の時点で、多くの職員も一緒に子ども達と走っていました。ともに、何かをやる、なんだが初心を思い出しました。園内の日頃のスポーツ活動、学校での積極的な部活動参加などが功を奏したのか、今年も入賞者が出たことを喜ばしく思います。この入賞を人生に1ページの糧としてもらいたいので、入賞者だけでなく、ここまで頑張ってくれた子どもたちもまた1つ糧としてもらえれば幸いです。児童指導員 菅野 穰

みんなのホームに おじゃマンボウ

今号より「みんなのホームにおじゃマンボウ」と題して、各ホームの様子を保育士さんにインタビューをしていきます。

第1回目はりんどうホーム・すみれホームです。

りんどう ホーム

担当保育士：大嶋比呂子
交替保育士：刈米 可奈

すみれホーム

担当保育士：齋藤 寛美
交替保育士：刈米 可奈

すみれホームはどんなホームですか？

齋「みんな仲が良く、よく笑うホームです！たまにケンカもありますが…(笑)」

刈「あいさつや返事など基本的なことがしっかりできている子が多いですね！」

個性的なメンバーがそろってますね(笑)

齋「そうですね！(笑) 毎日のようにハプニングがあり楽しいです！体力的には大変ですが、癒されながら毎日過ごしています！」

刈「笑いが絶えません！！(笑)」

すみれホームの目標は？

齋「時間を見て行動できるようにしましょう。思いやりを持ち、笑顔あふれるホームにしましょう。というのがすみれホームの目標です。言葉がきつかったりしたら、お互いに伝えあったりしています。気づいたときに伝えあえる関係が来ています。」

りんどうホームはどんなホームですか？

大「年少児が多いので、手はかかりますがみんな可愛らしく毎日楽しいです！中2のHや小4のKが小さい子の面倒をよく見てくれます！」

刈「個性豊かです！」

小さい子が多いホームですが大変な所と良いところは？

大「手をかけるとそれに応えてくれるところが喜びです！小さいからこそ自立に向けてやっていることが出来るようになっていくのがわかって嬉しいです！」

刈「寝る時間がみんな一緒に、あっちへ行ったりこっちへ行ったり大変です！小さい子が多いので癒しが多いです♡」

りんどうホームの目標は？

大「思いやりのある言葉を使おうです！自分の事ばかりにならないように、相手の立場になって考えられるように声をかけています！」



今年も毎年4月の恒例行事となっている新高校生会を実施しました。日程は4月25・3日、場所は鴨川青年の家でした。新たに高校生となった4名を加えた11名の高校生が参加し、改めてホームでの生活の約束事や、これからの進路についてみんなで話し合いました。

今年も去年と同様、フェアスタートの永岡さんや、ソニー生命のスタッフの方々から外部講師として参加してくださいました。そして今年も新たな試みとして、レインボウプログラムの方々を招き子どもたちと交流していただきました。

レインボウプログラムの方々はこれまでも子山ホームの子どもたちとは長きに渡って関係を持ち続けてきてくださっているのですが、今回の主旨としては、自分自身を見つめて、また振り返り、自分の再発見をしていく中で自身の課題や自己肯定につながるものを確認していき、さらにそれを仲間と共有することで、仲間同士のつながりを強めていくといったものでした。

新たな試みとあり、スタッフの方々や我々職員、子どもも含め手探りしながらの進行となりましたが、子どもたちと新たな側面からのやりとりのなかで、いつもとは違う意見交流を図ることができて、非常に有意義なものとなりました。この試みを今後深めていって、子どもたちの卒業後の交流にもつなげていけたらと考えております。

児童指導員 池口 豊

4/2
4/3

IN鴨川青年の家
新高校生会

しらいともゆき
白井 智之

はじめまして。今年度から指導員として働かせていただく白井です。まだわからないことだらけで、日々試行錯誤の毎日ですが、先輩方にアドバイスをいただきながらがんばっていきたいと思います。今は毎日違うホームに入らせていただいているのですが、まだまだ子どもたちから信頼されているという感覚は、あたりまえですがありません。今後子ども達と一緒に様々な活動をしていくなかで、頼りがいのある指導員さんを目指していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

おおぞね ゆういちろう
大曾根雄一郎

自分は今まで調理の仕事しかしたことがないので、子山ホームの仕事(指導員)というのは経験したことがなく、わからないことは皆さんに聞いてこどもたちを支援していきたいと思っています。調理もまだ勉強しなければいけないことはたくさんあるので、子山ホームの調理の中でも勉強させていただきたいと思っています。自分は不器用で覚えも悪く皆さんに迷惑をおかけする場面もあると思いますが、自分なりにがんばっていきますので宜しくお願いします。



今年度1名の新任指導員さんと1名の新任指導員補助兼調理員さんが、新たに仲間として加わりました。



新鮮でおいしいお野菜をいつもありがとうございます!!

日頃より、子山ホームに新鮮なとれたて野菜を提供してくださったり、子山ホームバザーにご協力いただいているいすみ市生涯大学OBみのりの会。みなさん、一から農業の技術を習得され、毎週火曜日に集まり季節ごとの旬な野菜を育て続けて早8年目。取材にうかがった際には子山ホーム理事長夫人で、元子山ホーム職員の藍野悦子さんを始め、みのりの会のみなさんが晴天の下楽しく農作業をされていて、心地いい汗を流しておられました。

先日、子山ホームにとれたてのトウモロコシが届き、それを食べた子どもたちは「こんなに甘いトウモロコシ食べたことない!」と大喜びでした。

また、トウモロコシは館山市の左草様からも頂き、焼きトウモロコシにいただきました。



ウォークラリー with ソニー生命



今年もソニー生命さんからお誘いを頂き、5月20日にウォークラリーを行いました。今年の目的はクリーンウォークということで、近くの大原海岸を中心に、ゴミ拾いを子どもたちとソニー生命の方々と行ないました。海を高い場所から一望できる小浜八幡神社で自分たちで作ったおにぎりを食べたりと、素晴らしい経験をすると同時に、ソニー生命の方々と関わる機会を持てました。今後も引き続き、皆さんと関わる機会を大事にしたいと思っています。ありがとうございました。

児童指導員 杉本 祐樹

みんなの味方 巨人の星さん

新高校生にプレゼント
ありがとうございます。

進級会にあわせて、巨人の星さんより、今年高校に進級する5名の子どもたちに寄付金を頂きました。子どもたちが使えるようにQUOカードとして、贈呈しました。日頃よりのご支援心より感謝申し上げます。

いつも私たちがホームや学校での生活で使える、文房具や色々なものを寄付してください、ありがとうございます。今回いただいたQUOカードも、大切にに使わせていただきます。

高1 R・T

高校入学のお祝いで、クオカードをくださりありがとうございます。大切にさせていただきます。高校生活3年間頑張りたいと思います。

高1 T・S

寄付 皆様のお気持ちが子ども達に届きました。心より感謝申し上げます。



カーブス様



セカンドハーベストジャパン様



チュチュアンナ様



みのりの会様



巨人の星様



松峰工業株式会社様

新聞店で働いている
卒園生 新井有季様より寄贈

ダスカジャパンクアデモック様

Scoop スクープ! おめでとございます!! 結婚

5月20日(日)爽やかな陽気のもと、指導員藤巻さんと、以前子山ホームにボランティア活動にきていただいていた、現在も子どもたちとの交流のあるシャノンさんとの結婚式がとり行われました。一年に入籍を済ませていたお二人が、ついにこの日を迎えました。ホームからは、6名の子どもたちと2名の卒園生も参加。H君とS君の、フラッグボーイリングボーイの姿に、会場は和やかな空気に包まれました。末永くお幸せに!



子山ホーム平成30年度会計報告

平成29年4月1日～平成30年3月31日

収 入 の 部		支 出 の 部	
措置費収入	304,793,125	人件費支出	214,380,970
補助金事業収入	11,361,281	事務費支出	36,480,437
経常経費寄付金収入	2,386,340	事業費支出	61,426,408
受取利息配当金収入	35	利用者等外給食費支出	5,890,100
受入研修費収入	413,501	固定資産取得支出	2,356,540
利用者等外給食費収入	5,890,100	積立資産支出	4,479,950
雑収入	1,033,104	拠点区分間繰入金支出	700,000
事業区分間繰入金収入	190,884		
		当期資金収支差額合計	353,965
合 計	326,068,370	合 計	326,068,370

2018年度 第一回子山ホーム後援会・幹事会

2017年度の後援会・会員の活動

①春のバザー協力（いすみ市農村環境改善センターにて実施）②クリスマス会参加③進級会参加④後援会費賛助依頼活動（子山ホームだより配布に後援会費振込用紙を同封その他）⑤子ども活動費としてミュージカル劇団いすみっこ・会費補助（いすみっ子には4名参加、5月の子ども祭り、地域のチャリティーイベント等数多くの公演に出演）⑥卒園・自立してゆく子どもたちへの自立支援金の補助を（今年は3名の卒園・就職自立・措置延長）行いました。そして、卒園生本人が借りた奨学金の返済ができるようになるまで、代わりに返済支援を続けています。（現在まで約200万円返済）現在その卒園生は結婚・出産し、僅かずつですが返済を始めています。今年度終了した児童等の改修工事に資金援助をしました。素晴らしいホームに生まれ変わりました。また今年は、他の団体からの援助もありミュージックベル等の購入補助が無くなったりと支出が少なくなりましたが、子どもたちの活動は活発化しており今後も援助を継続していきたい。

※今年度も定期的に有志の方々が桜の選定作業を行いました。その成果として、春には今年も素晴らしい桜並木となりました。

2018年度の後援会・会員の活動計画

今年度は、管理棟の内部の改装や外壁塗装などにより魅力的な働きやすい環境・空間創りの資金援助を行いたい。また、秋バザー（10月の第一土曜日にいすみ市農村環境改善センターにて実施予定）、クリスマス会や進級会への積極的な参加はもちろんの事、桜の選定作業や進んでいないあじさいの植え付け、菜の花の種まき等より一層の環境整備を援助したい。特に、年2回卒園生へふるさと宅急便を送る活動（子山ふるさと化計画）や卒園後に困難を抱えた卒園生に対しても支援・援助（奨学金の返済援助）を継続していきたい。

2017 年度決算

(単位：円)

収 入	科 目	予算額	収入済額	備 考
	前年度繰越金	637,614	637,614	
	後援会会費	1,500,000	1,080,629	
	寄付金	200,000	358,567	バザー 358,567 円
	雑収入	63,386	3	利息 3 円
	合 計	2,400,000	2,076,813	

支 出	科 目	予算額	支出済額	備 考
	事務費	20,000	1,080	手数料等
	会議費	5,000	0	
	卒園生自立援助補助金等	200,000	100,000	就職援助金 100,000 円（2名分）
	子供活動費	130,000	19,000	いすみっこ入会費、年会費 コンサートチケット代
	各ホーム活動補助金	150,000	0	
	子山ホームキャンプ補助金	0	0	
	環境整備補助金	100,000	0	
	予備費	375,000	0	
	寄付金	1,400,000	629,184	自立援助資金（奨学金 629,184 円返済分）
	ボランティア活動費	20,000	0	
	合 計	2,400,000	749,264	

●チャリティーコーナー

敬称略、順不同（平成30年1月8日～平成30年5月14日）

個 人		団 体	
森 良子	金城 雅夫	大美屋	(株)チュチュアンナ
巨人の星	佐藤好比呂	房給	小池食堂
石川 浩一	左草 哲	恵時池内円海	キッザニア東京
松ヶ谷 隆	大田 正巳	楽天生命 代理店	千葉ロッテマリーンズ
山田恵美子	山下 弘	みのりの会	フェアスタート
大和ヒロシ	平手 光明	(株)シーエックスカーゴ	大多喜ロータリークラブ
佐藤 正人	本間	千葉交響楽団	房総カントリークラブ
中根 恵子	吉田 豊昭	ソニー生命	吉田米店
坂東 君子	三好 憲子	天理教 夷隅長生支部	金城寺
田端 樹生	坂東 君子	ゴールドマンサックス証券	フードバンク 千葉
秋田 実	宮原ひとみ	三育学院	セカンドハーベスト
木村 實	藍野 悦子	源氏肉店	大日建設
巨人の星	是枝 守	高梨ミート	(株)自然派倶楽部
柏田 隆徳	浅香 良太	五洋建設(株)	子山ホーム 後援会
加賀田博次	新井有季也	明治さわやか宅配 大原センター	天徳寺
門屋 登		(株)ダスカジャパンクアウテモック	千葉日報

ボランティアの方々（敬称略） ※平成30年1月8日～平成30年5月14日までの間で活動して頂いた方々です。

- ・NPO法人ブリッジフォースマイル
- ・NPO法人プレイグラウンド・オブ・ホープ
- ・NPO法人Nadia
- ・I V G（インターナショナルボランティアグループ）
- ・キッザニア
- ・(株) ソニー生命
- ・フェアスタート永岡さん
- ・いすみ市生涯大学OB：みのりの会の皆さま
- ・読み聞かせ：いすみ市厚生保護女性会の皆様

- ・床屋：ヘアークラブヤノ
- ・桜をきれいに咲かそう会（桜の剪定）

子どもとの交流

柏田 隆徳・三育学院・レインボー（越智 三佳・田中やよい）・
クローバーサークル（柚山佳代子）・高梨 庸一・田井 秀明・
平手 光明・浅香 良太夫妻・藤巻 シヤノン

◆◆平成30年度後援会名簿◆◆

（平成30年1月16日～
平成30年5月25日）

マームジャパン株式会社
土田 修二

梶永 光洋
藤沼 光雄

植原 中子
井爪 康雄

杉山 榮佑
浦 恭子

※後援会費の振り込み用紙は、送付の作業上全員の方に5月と9月発行の子山ホームだよりに同封してあります。会費は任意ですので、ご了承下さい。
※上記の名簿は平成30年1月16日～平成30年5月31日までに納入された方で、それ以降、納入された方は記載されていません。

子山ホームだより 第79号

発行日：平成30年5月31日

社会福祉法人

チルドレン・パラダイス

児童養護施設 子山ホーム

千葉県いすみ市深堀685番地

TEL 0470-62-2325

FAX 0470-62-8828

Eメール info@h-koyama.or.jp

http://www.h-koyama.or.jp/

▽編集後記△▽

永遠に超人的なスーパープレーを我々に見せ続けてくれると信じて疑わなかったイチロー選手が、突然今シーズンはプレーしないことを表明したり。永遠に変わらぬ姿でファンを魅了し続けてくれると思っていた安室さんが引退をしたり。。。時の流れを感じざるをえないと言いますか、世代的にもグッとくるニュースが相次ぎました。

ここ最近ホームでは、小学生の男の子たちが学校でラブレターをもらったとか、告白されたといった話を耳にします。真偽は別として（笑）、ちよっと前まで甘えたちゃんのあの子がねえと、やはりこれも時の流れを感じざるをえません。かくいう私も、入籍からあつという間に1年以上が過ぎ、先日ようやく式を挙げるのが叶いました。

後日、式に参加してくれた高校生の子に、「来てくれてありがと」と言うと、「ううん、こっちこそありがと。あたしにも夢ができたよ。」と言うてはありませんか。またあつという間に時が過ぎ、もし招待状が届いたら。。。きつと泣いてしまいうんだろうなあなどと妄想していたら、魚を焦がしてしまいました。

次号は9月の発行となります。夏休みにも、たくましさを増した子どもたちの様子をお届けしますのでお楽しみに。

△ M・F △
▽